

令和4年(2022年) 9月20日(火) 13966号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

非鉄金属市況・需給動向8月

利上げ警戒・後退懸念が価格抑制

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)はこのほど、8月のベースメタル市況動向などを公表した。各国中銀利上げの警戒と低迷する中国などの経済後退による需要懸念が、依然、価格の抑制要因になっている。

①銅、米国の利上げ緩和により上昇するも、利上げ継続見込みから月末下落: 7,930.5US\$/tでスタート。2日、Pelosi米下院議長が台湾を訪問したことによる米中関係の悪化が警戒され、月初の価格は下落した。中国で2022年GDP目標達成が断念されるなど経済の弱さが浮き彫りになり、需要減退が懸念されたことも重しとなった。月中は、米国の経済回復による需要拡大期待から上昇傾向が見られた。5日、7月米非農業部門雇用者数が予想の倍となり、景気悪化懸念が和らいだ。加えて11日、消費者物価指数(CPI)・生産車物価指数(PPI)が市場予測を下回るなどインフレ鈍化が見込まれ、米FRBの積極的利上げ予測が後退した。一方、中国で、建設部門・不動産市場が低迷しているほか、7月鉱工業生産指数の伸びが鈍化、中国需要減退の見込みが価格を抑圧した。月末、FRBが経済を犠牲にしてもインフレが抑制されるまで利上げを続ける姿勢を示し、価格は急落した。対ユーロで等価を上回るなど記録的な米ドル高と、中国でコロナ規制が再強化されたことも影響し、最終的には月初を下回る7,721US\$/tで越月した。

②亜鉛、蘭Budel製錬所が操業停止発表など供給逼迫懸念が価格を下支え: 3,405.5US\$/tでスタート。ロシアのウクライナ侵攻などを背景とする欧州の電力高

などによる地金生産量減少懸念から、月初の価格は上昇傾向にあった。

16日、Nyrstar社のBudel製錬所が、電力高により9月1日から操業停止する見通しを明らかにし、価格は一時7%増と急騰した。

月を通して世界経済減速が圧力となっていたが、供給逼迫感が価格を下支えたことで、月末は3,540.0US\$/tと月初を上回って終えた。

③ニッケル、需給関連材料による価格への影響は限定的、マクロ経済減退による需要懸念により下落傾向: 月初、インドネシア政府の2022年第3四半期ニッケル輸出税制関連報道があり、対前日比9%上昇し24,025US\$/tでスタート。

上旬は、中国需要の減退が価格を圧迫したが、11日、米国利上げ緩和見込みにより価格は反発した。22日、インドネシア政府が年内にもニッケル輸出関税をかけると発表し、供給懸念が浮上した。

また26日、米CA州で2035年から化石燃料車の新車販売が禁止されると発表されたことをはじめとする米国内のEV転換の動きにより、電池向け需要が増加するという見方が広まった。これらにより小幅な価格上昇は見られたが、マクロ経済減退による需要懸念から大きな価格変化動向にはつながらず、21,255.0US\$/tに下落して月末を迎えた。

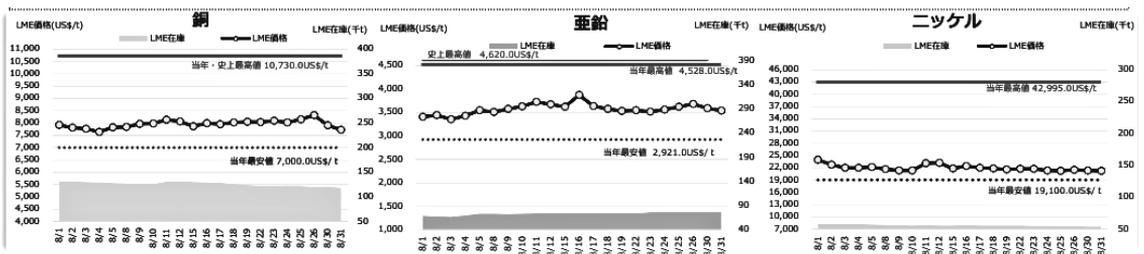
銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp

木村金属株式会社
Kimura 06-6552-7840


 QRコード

大阪市大正区



非鉄金属市況・需給動向8月報告 銅6月需給

4か月連続の供給不足

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（細野哲弘理事長）がこのほど発表した市況動向8月報告によると、6月の鉱石生産量、地金生産・消費量はほぼ横ばいとなり、需給バランスは4か月連続の供給不足だった。

■需給動向

①6月銅鉱石生産量、ほぼ横ばい：国際銅研究会（ICSG）2022年8月発表データによると、6月生産量は1,846.0千t（前月比0.8%減、15.0千t減）と前月比でほぼ横ばいとなった。中国、ペルーは増産したが、チリの減産で相殺された。

②6月地金需給バランスは4か月連続の供給不足：6月地金生産量は2,165.0千t（同0.7%減、15.0千t減）、地金消費量は2,230.0千t（同1.0%増、21.0千t増）で66千tの供給不足となった。中国で地金生産量・消費量は増加。その他各国では大きな変化幅は見られず、生産・消費量とも前月比横ばいとなった。

③1～6月地金需給バランスも供給不足に：ICSGによると、1～6月の地金需給バランスは72千tの供給不足となった。地金消費量は、中国で正味輸入量が7か月ぶりの高水準に達するなど、大幅に増加した。地金生産量は、チリ・日本が前年同期比減となったが、中国・DRコンゴでそれぞれ2.7%、20%増加し、前年同期需給バランス（130千t供給不足）に比べ、不足幅は縮小した。

■企業動向

①Operadores Concentrados Peruanos社（ペルー）：Doe Run Peru社からCobriza銅鉱山を19.7mUS\$で落札（1日）。

②Newcrest Mining（豪）：通気シャフトの不具合により、NSW州Cadia金・銅鉱山を7月22日から採掘停止（9日）。修理完了により、13日から操業再開（23日）。

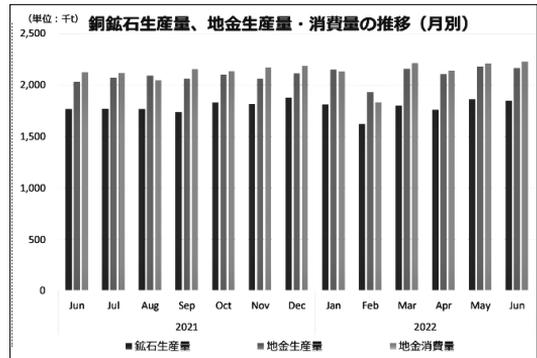
③BHP（豪・英）：OZ Minerals社に総額8.3bA\$の買収を提案したが、OZ Minerals社は拒否（15日）。

④MMG社（ペルー）：Aurimac州Fuerabambaコミュニティが設立したLlallawa de Fuerabamba社と、精鉱輸送委託契約を締結（22日）。

⑤Nevada Copper社（加）：NV州Pumpkin Hollow銅鉱山の再開計画を発表（30日）。

⑥Daye Nonferrous Metals社（中）：double-flash製錬所、9月中旬から操業開始（30日）。

⑦CODELCO（チリ）：2022年銅生産量見通しを1,490～1,510千tに下方修正（31日）。



銅鉱石生産量、地金生産量・消費量の推移（月別）

RD20国際会議 参加登録を受付 産業技術総合研究所

国立研究開発法人産業技術総合研究所は、10月4日から6日まで開催する国際会議「第4回RD20」の参加登録をウェブサイトで受け付けている。

RD20は、カーボンニュートラルの実現に向け、世界最先端の技術開発を行うG20各国・地域の研究機関による国際連携の強化、イノベーション促進を旨とし、2019年に開始した国際的研究開発の枠組み。概要は次の通り。

【テクニカルセッション＝4日9:30-17:20（オンライン）】テーマ1＝水素のライフサイクルアセスメント・技術経済性分析／テーマ2＝再生可能エネルギー発電とインテグレーション／テーマ3＝カーボンマネジメント

【国際連携ワークショップ（招待制）＝5日13:00-16:00】

【リーダーズセッション＝6日13:00-17:00（ハイブリッド）】基調講演とラウンドテーブル・ディスカッション。オンラインと東京プリンスホテルでの会議。

<共催（予定）>文部科学省、経済産業省、環境省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構。



非鉄金属全般

銅 岡田商店

代表 岡田兼典

580-0046

大阪府松原市三宅中4-20-14

電話：072（289）8936（代）

ファクス：072（289）8937

小名浜製鍊を完全子会社化

三菱マテリアル

三菱マテリアル株式会社(小野直樹社長)はこのほど、連結子会社で銅の受託製鍊などを手がけている小名浜製鍊株式会社(山田高寛社長、東京都千代田区)の株式を追加取得し、完全子会社化すると発表した。小名浜製鍊所にリサイクル原料の前処理施設を新設する計画で、金属リサイクル事業の強化を図る。

三菱マテリアルはこれまで55.7%を出資。DOWAメタルマイン株式会社と古河メタルリソース株式会社がそれぞれ保有する小名浜社の全株式31.6%、12.7%を2023年31日に取得する予定。取得額は明らかにしていないが、23年3月期連結業績への影響は軽微としている。

同製鍊所は1963年の設立。東日本唯一の銅製鍊所で、非鉄金属の受託製鍊・加工、硫酸その他無機工業製品の製造・販売、一般廃棄物・産業廃棄物の処理を行っており、廃自動車から発生するシュレツダーダスト(国内発生量の約15%を処理、国内トップシェア)やE-Scrapの処理など自動車・家電リサイクルの拠点となっている。

三菱マテリアルは、2030年度末までのE-Scrap処理年間20万トン体制の確立、E-Scrapの多様な金属元素の分離・回収・製品化、グループのマテリアルフローの最適化を進めるため、管理・開発(マテリアルグリップ)の強化を進めている。

日刊金属 既刊収録サイト

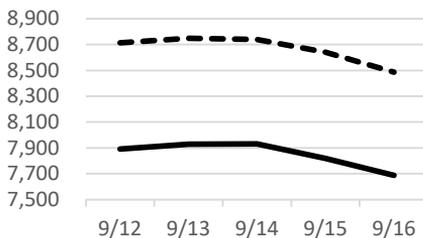
<https://nikkankinzoku.co.jp/>



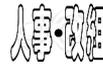
金銀山元建値週間推移

9月12日~9月16日

金山元建値週間推移



	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
--- 金小売	8,714	8,750	8,739	8,640	8,486
— 金建値	7,891	7,928	7,932	7,818	7,688



【神鋼商事株式会社】(プロフェッショナル職群)

グループ長クラス 9月16日付

鉄鋼原料本部東京原料部第一グループ長(鉄鋼原料本部東京原料部第一グループ次長) 藤田明弘

部長クラス 10月1日付

鉄鋼本部線材部長(鉄鋼本部線材部長兼東京線材第二グループ長) 大野真樹夫▷機械・情報本部西日本機械部長兼九州・中国機械グループ長兼徳山出張所長(機械・情報本部西日本機械部長) 淵野達也

グループ長クラス 10月1日付

鉄鋼本部線材部東京線材第二グループ長(鉄鋼本部鋼板部東京薄板グループ次長) 三木康範

(カッコ内は旧職)

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精鍊

中川金属精鍊所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

8月平均

建 値

小 売

金(¥/g)

7,690.19

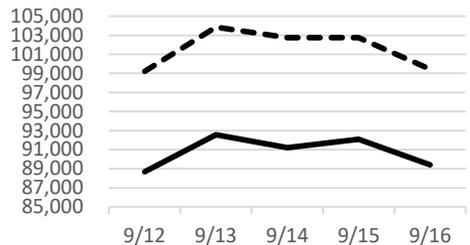
8,492.95

銀(¥/kg)

86,910

97,920

銀山元建値週間推移



	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
--- 銀小売	99,220	103,840	102,740	102,740	99,440
— 銀建値	88,670	92,550	91,190	92,100	89,410

故銅市況

16日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,865.00ドルより59.00ドル安の7,806.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,893.50ドルより44.75ドル安の7,848.75ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,790.00ドルより64.00ドル安の7,726.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,803.00ドルより73.50ドル安の7,729.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の12月限は、前営業日の351.95セントより2.95セント安の349.00セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万2,490元より200元安の6万2,290元。

16日の東京為替市場TTSレートは、前日の144.34円より0.23円の円高ドル安、1ドル=144.11円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(9月15日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が910~915、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは875~880、並銅は840~850、込銅(高品位=約97%)は830、セバは695~700。コーペルは要り用筋で636、それ以外は621ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋646、それ以外616~626どころの値頃。並青銅削粉は735~740どころ。

小口市市中相場(1トン前後)では、ピカ線が890~910、上銅新くずが855~875、普通上銅が830~850、2号銅線が822~842、並銅が820~840、込銅(94-97%)が768、込銅(90-93%)が770、下銅が431~481、セバが660~695、コーペルが576~621、黄銅棒地が571~616、黄銅削粉が566~611、黄銅ラジが531~539、交叉ラジが479~536、黄銅銅削物が479~486、送りが282~301、上青銅削物が732~752、並青銅削物が712~727、上青銅削物削粉が727~747、並青銅削物削粉が702~722どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(9月前半)

2S=220円~240円、63S=204円~255円、アルミホイール(1P)=121円~235円、ビス付サッシ=87円~96円、エンジンコロ=110円~118円、込合金(機械削物)=93円~101円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区(9月前半)

2S=202円~205円、63S=205円~240円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=186円~196円、ベースメタル=154円~158円、機械削物=96円~99円、ダライ粉=75円~78円、ビス付サッシ=73円~108円、缶プレス=83円~88円。

16日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,806.00ドル。この値と16日の東京外国為替市場USDollarTTSレートから計算した国内採算値は、前日の117万3,000円より1万1,000円安の116万2,000円。この日、電気銅建値は118万円に据え置かれた。

為替動向

15日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで横ばい。16時、前日と同水準の1ユーロ=0.9990ドル~1.0000ドルで推移した。FRBが大幅な利上げを続けるとの見方が有力でユーロ売りドル買いが促される一方、インフレの抑制ではECBも積極的な金融引き締めを続ける姿勢でユーロ買いドル売りも入り易かった。一方に持ち高を傾ける動きは乏しかった。英ポンドは対ドルで下落。同じく0.0090ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.1490ドル~1.1500ドルで推移した。

15日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前日と比べ0.35円の円安ドル高、1ドル=143.45円~143.55円で取引を終えた。米国の長期金利は前日の3.40%から3.45%に上昇、円売りドル買いが優勢になった。この日発表された米国の8月小売売上が前月比で市場予想の0.1%減を上回り0.3%増となった。7月は0.4%減に修正されており予想外の増加でガソリン価格の低下が消費を下支えしたと見られる。ただ、日本の通貨当局が急激な円安に警戒姿勢を強め為替介入に動くとの思惑が円の下落を支えた。

16日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前日17時と比べ0.25円の円高ドル安、1ドル=143.31円~143.33円で推移した。日本政府が円安への牽制を強めていることが円相場の支えとなり円買いドル売りが優勢になった。

円は対ユーロでも小幅ながら上昇した。同じく0.07円の円高ユーロ安、1ユーロ=143.16円~143.20円で推移した。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
電話 06-6471-2531~5
FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
電話 03-3618-2351~2

日刊金属
外電配信料
(税込)

6 ヵ月 : 46,200 円
12 ヵ月 : 92,400 円



LME銅相場は続落 直物終値は7,848.75ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場はまちまち
 LME非鉄相場はまちまち エネルギー高騰、亜鉛・アルミは高値圏推移



16日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月15日入電の7,865.00ドルより59.00ドル安の7,806.00ドル。2営業日の続落で5.15%安。この週2.24%の下落。9月に入って1.10%の上伸。3か月物の前場売値は、9月15日入電の7,790.00ドルより64.00ドル安の7,726.00ドル。2営業日の続落で4.56%安。この週2.45%の下落。9月に入って0.32%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地9月14日の10万3,025トンより200トン増の10万3,225トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、9月15日入電の354.55セントより2.20セント安の352.35セント。3営業日の続落で2.81%安。この週1.61%の下落。9月に入って0.14%の上伸。10月限は、9月15日入電の354.00セントより2.65セント安の351.35セント。3営業日の続落で2.98%安。この週1.78%の下落。9月に入って0.16%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、9月15日入電の6万3,070元より250元高の6万3,320元。反発して0.40%高。この週0.24%の上伸。9月に入って1.36%の上伸。中心限月に当たる10月限は、9月15日入電の6万2,490元より200元安の6万2,290元。2営業日の続落で1.38%安。この週0.02%の上伸。9月に入って0.57%の上伸。

錫は続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月15日入電の2万1,350.00ドルより450.00ドル安の2万0,900.00ドル。2営業日の続落で6.05%安。この週1.90%の下落。9月に入って11.44%の下落。3か月物の前場売値は、9月15日入電の2万1,050.00ドルより225.00ドル安の2万0,825.00ドル。2営業日の続落で5.34%安。この週1.88%の下落。9月に入って9.55%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地9月14日の4,785トンより25トン増の4,810トン。

鉛は反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月15日入電の1,930.00ドルより6.00ドル高の1,936.00ドル。反発して0.31%高。この週0.94%の上伸。9月に入って0.72%の下落。3か月物の前場売値は、9月15日入電の1,937.00ドルより5.00ドル高の1,942.00ドル。反発して0.26%高。この週0.91%の上伸。9月に入って0.41%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地9月14日の3万5,725トンより750トン減の3万4,975トン。

亜鉛も反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月15日入電の3,215.00ドルより10.00ドル高の3,225.00ドル。反発して0.31%高。この週0.08%の上伸。9月に入って8.90%の下落。3か月物の前場売値は、9月15日入電の3,190.00ドルより15.00ドル高の3,205.00ドル。反発して0.47%高。この週0.30%の上伸。9月に入って7.24%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地9月14日の7万6,375トンより275トン減の7万6,100トン。

アルミも反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊は上伸

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月15日入電の2,227.50ドルより44.50ドル高の2,272.00ドル。反発して2.00%高。この週0.35%の下落。9月に入って4.07%の下落。3か月物の前場売値は、9月15日入電の2,244.00ドルより38.00ドル高の2,282.00ドル。反発して1.69%高。この週0.35%の下落。9月に入って3.18%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地9月14日の34万5,600トンより万4,050トン増の34万9,650トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月15日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、9月15日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月15日入電の2,209.00ドルより71.00ドル高の2,280.00ドル。上伸して3.21%高。この週2.56%の上伸。9月に入って1.85%の下落。3か月物の前場売値は、9月15日入電の2,235.00ドルより70.00ドル高の2,305.00ドル。上伸して3.13%高。この週2.44%の上伸。9月に入って0.43%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月15日入電の2万3,755.00ドルより445.00ドル安の2万3,310.00ドル。2営業日の続落で5.46%安。この週5.00%の上伸。9月に入って9.67%の上伸。3か月物の前場売値は、9月15日入電の2万3,760.00ドルより360.00ドル安の2万3,400.00ドル。2営業日の続落で5.45%安。この週4.93%の上伸。9月に入って9.76%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地9月14日の5万2,464トンより582トン減の5万1,882トン。

LME公示価格(US\$)／9月15日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,806.00	20,900.00	1,936.00	3,225.00	2,272.00	1,760.00	2,280.00	23,310.00
	前営業日比	▲ 59.00	▲ 450.00	6.00	10.00	44.50	0.00	71.00	▲ 445.00
先物	公示価格	7,726.00	20,825.00	1,942.00	3,205.00	2,282.00	1,760.00	2,305.00	23,400.00
	前営業日比	▲ 64.00	▲ 225.00	5.00	15.00	38.00	0.00	70.00	▲ 360.00

海外非鉄金属相場

(9月16日 入電・現地 9月15日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous day, and high/low values.

Table for '採算価格' (Breakeven Prices) with columns for metal types and rows for LME and COMEX prices in Yen.

フリー・マーケット

Table for '米国生産者価格 (地金)' (US Producer Prices) for silver.

Table for 'NY相場' (NY Market) for copper and tin.

Table for 'ロンドン相場 (ドル)' (London Market) for various metals like antimony, bismuth, cadmium, etc.

Table for 'KLT M 錫 (MYR/KG, 出来高トン)' (KLT M Tin) comparing prices for 15th and 16th days.

Table for 'LME在庫 (トン)' (LME Inventory) showing stock levels for copper, tin, lead, zinc, and aluminum.

Table for '上海在庫 (トン)' (Shanghai Inventory) showing stock levels for copper, aluminum, zinc, and nickel.

Table for 'LMEプレマーケット (ドル)' (LME Pre-Market) showing prices for copper, tin, lead, and aluminum.

Table for '上海相場' (Shanghai Market) showing prices for copper, aluminum, zinc, and nickel.

Table for 'COMEX 上海' (COMEX Shanghai) showing prices for copper, aluminum, zinc, and nickel.

非鉄金属製品相場

(9月16日調べ)

(キログラムあたり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1490	1435	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1540	1485	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1620	1635	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1580	1635	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1490	1545	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1400	1405	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1455	1450	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1480	1465	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1410	1405	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	1680	1635	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1235	1260	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	1265	1290	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	1385	1440	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1690	1740	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1660	1710	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1000	1080	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1030	1110	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1060	1140	白金(グラム)		◆4640	4C×2 168-172
鍛造用	1040	1120	パラジウム(グラム)		◆10961	6C×2 237-243
ネーバル	1140	1220	金(グラム)		◆8486	7C×2 271-278
高力	1140	1220	銀(キログラム)		◆99440	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1410	1440	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	1610	1650	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	1230	1275	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減摩合金	9月16日改定	銅合金地金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4280	BC 1種	1215
2種	4175	2種	1535
3種	4055	3種	1615
4種	3570	6種	1295
5種	3405	7種	1425
7種	1285	YBSC 3種	1095
8種	1145	LBC 3種	1560
9種	980	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(9月16日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
山元建値					電気銅		1180(15)	金 7,688(16)
() 実施日					電気鉛		342(14)	銀 89,410(16)
					電気亜鉛		517(15)	錫(99.99%) 4,450(7)
1トン以上外税持込							高値	安値
非鉄原料 (炉前材)							高値	安値
1号銅線	1053	1048	電 気 銅	◆ 1129	◆ 1124	◆ 1131	◆ 1126	
2号銅線	1011	—	電 気 亜 鉛	488	482	488	482	
上銅 (新切)	1024	1016	蒸 留 亜 鉛	476	470	476	470	
雑 ナ ゲ ッ ト	881	879	再生ダイカスト亜鉛2種	394	388	394	388	
並 銅	966	948	再 生 亜 鉛 (98%)	344	338	344	338	
下 銅	947	919	電 気 鉛	314	311	314	311	
銅 削 粉	941	922	再 生 鉛 1 号	297	287	294	289	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	302	298	299	295	
新切黄銅セバ	821	827	錫 1 号	3400	3350	3400	3350	
コ ー ベ ル	789	785	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950	
黄銅棒地	787	773	ニッケル(メッキ用)	3600	3550	3600	3550	
黄銅削粉	781	769	コ バ ル ト	8900	8600	8900	8600	
並 黄 銅	660	635	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900	
黄銅ラジエター	602	588	ビ ス マ ス	1450	1350	1450	1350	
交叉ラジエター	608	586	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550	
黄銅鑄物	665	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480	
山 送 り (55%)	370	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 375	◎ 371	◎ 377	◎ 373	
上青銅鑄物	832	—	アルミ二次地金 99 %	305	300	305	300	
並青銅鑄物	830	819	〃 90 %	263	258	263	258	
上青銅鑄物削粉	825	—	アルミ二次合金ADC12	417	412	420	415	
並青銅鑄物削粉	815	804	鑄 物 用 C2BS	442	437	444	439	
新切リン青銅(伸銅)	—	1065	青銅合金地金 3種	1600	1590	1620	1610	
〃 (鑄物)	946	—	〃 6種	1290	1280	1310	1300	
リン青銅削粉	864	857	ハ ン ダ 錫 60 %	2845	2805	2865	2835	
新切洋白(電子材)	876	864	〃 50 %	2460	2410	2480	2450	
新切亜鉛	256	256	〃 40 %	2135	2075	2090	2060	
ダイカストくず	221	221	減 摩 合 金 2 種	4145	4115	4150	4120	
亜鉛ドロス	199	210	〃 4 種	3525	3500	3530	3500	
上 鉛	142	140	〃 7 種	1215	1165	1215	1165	
電池素鉛ケース込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		75	75	
活 字 鉛	127	124		〃 ダライ粉		60	60	
新切アルミ1級	242	244		高耐食ステンレスSUS316		210	210	
新切サッシ1級	242	242		耐熱ステンレスSUS310		365	365	
新切合金1級	227	222		13クローム 新切		21	24	
機械鑄物1級	155	162		ハイス 9種		205	205	
ビス付サッシP	183	180						
合金削粉P	100	105						
込 ガ ラ P	95	97						
カ ン ・ バ ラ	160	161						

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209